

テーマ：アイヌの人たちの歴史・文化等（実践校）

## 後志管内 真狩村立真狩小学校

## ■本実践のポイント（概要）

- ・ふるさとに対する愛着や誇りを育むため、道徳科において、アイヌ文化を題材とした教材を活用し、郷土の伝統や文化を大切に育む素地を養いました。その上で総合的な学習の時間において、アイヌ文化を伝承している方々からアイヌの人たちの歴史・文化等を学ぶ時間を設定しました。学習したことについて1人1台端末を活用してグループでまとめ、参観日に学習の成果を保護者に発表しました。

## ■ふるさと教育・観光教育の実践内容

## ①取組の様子

## (1) 課題の設定

社会科や道徳科で学習したことを想起させるとともに、「北海道ふるさと教育指導プログラム」を活用し、アイヌの人たちの歴史・文化等に関する探究的な課題を設定しました。

## (2) 情報の収集

個々の課題の追究に向けて、北海道アイヌ教育相談員を招聘し、アイヌの歴史・文化等について講義を受けました。また、公益財団法人アイヌ民族文化財団からアイヌ文化活動アドバイザーを招聘し、アイヌの人たちの歌や踊りを体験する活動等を通して情報を収集しました。

## (3) 整理・分析

アイヌの人たちの歴史・文化等について、集めた情報の整理・分析を行い、現在の生活の様子と比較させることで、児童は、地名や川の名前などの身近なところにアイヌ文化との関わりがあることに気付きました。

## (4) まとめ・表現

各グループで調べたことをスライドにまとめ、学んだことを学級内で交流し合うとともに、参観日に保護者等に発表し、アイヌの人たちの歴史・文化等について理解を深めました。また、発表に使用したまとめを校内に展示し、全校に向けてふるさとの歴史や文化への理解を広げました。



【課題設定の話合いの様子】



【ゲストティーチャーによる体験活動】



【参観日における発表の様子】

## ②児童の感想等

- ・今の北海道や私たちの生活があるのはアイヌの人たちがいてこそのものだと思うし、今でも身近にアイヌ文様などが使われていることを知ることができました。
- ・今回の学習で、昔からアイヌの人たちと真狩が関わりがあることが分かり、真狩の歴史についてもさらに興味をもちました。

## ■取組の成果（○）と課題（●）

- アイヌの人たちの歴史・文化等に関するアンケートにおいて「今、住んでいる地域の歴史や自然について関心が高まった」のうちA評価を回答した児童の割合が30.8%から46.2%に増加したことから、児童のより一層ふるさとのことについて知りたいという思いが高まりが見られました。
- 児童の感想の記述に「これからもアイヌ文化を大切にしていきたい」「今回の学習をもっと続けたかった」という感想が見られるなど、ふるさとを大切にしようとする心を育むことができました。
- アイヌの人たちの歴史・文化等の学習を含めたふるさと教育の充実のため、総合的な学習の時間を核として、単元配列表等を作成・活用し、教科横断的な視点で教育課程を改善する必要があります。